

「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動シンボルマーク

今号では、出前説明会や川の手荒川まつりでのPR活動の様子や、参加団体の活動報告についてお届けします。



あら坊

©荒川区2010 # (29-0010)

あらみい

©荒川区2012 # (29-0010)

第 **23** 号

平成29年
10月2日発行

第五峡田小学校 出前説明会



6月10日(土)、土曜授業公開の日に第一学年の道徳の授業の中で、「あらかわの心」推進運動区民委員会幹事の皆様によるカルタを使った出前説明会がありました。「あらかわの心」推進運動では、心をつなぐ5つの取り組みとして、『あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守り』を実践しているとお話を聞いた後、「あらかわの心」カルタを行いました。

「荒川(あらかわ)は笑顔(えがお)とあいさつ(あいさつ)にあう町(まち)」―読み手の言葉をしっかりと聞いて、一年生はカルタに夢中になりました。その光景を周りで見守る保護者の方々もことういうカルタがあるのね。」などと、「あらかわの心」カルタに関心を持っている様子でした。カルタ遊びを通じて親子で「あらかわの心」推進運動にふれあうことができたひとときでした。

第五峡田小学校

出前説明会とPR寸劇の 申し込みは事務局まで

「あらかわの心」推進運動区民委員会では普及・啓発のため、学校や諸団体へ出向き、出前説明会や寸劇などのPR活動を行っています。

ご希望の方は事務局までご連絡ください。

第 **9** 回

「あらかわの心」 カルタ大会を開催します

「あらかわの心」カルタ大会は、「荒川は笑顔とあいさつ にあう町」から始まる44枚のオリジナルカルタを使用して順位を競う大会で、毎年2月に開催しています。試合開始時に手は膝の上、オテツキは頭の上にして置いて1回休みなど、楽しみながらもルールを守ることの大切さを学ぶことができます。イベントとなっています。

今年で9回目を迎える「あらかわの心」カルタ大会は、平成30年2月に開催予定です。入賞者にはメダルの授与があります。申し込みは、12月頃から受付予定です。詳しくは、区報等でお知らせします。



▲メダルを目指して挑戦してね



▲ 第8回カルタ大会の様子

日 平成30年2月4日(日)
時 午後1時30分～4時30分
場 あらかわ遊園スポーツハウス
所 小学生とひらがなの読める未就
対 学児(小学校に入学する前のお子
象 さん)

※内容は変更することがあります

野外活動を実施しました！

荒川消防少年団



荒川消防少年団は、小学生から高校生までが所属し、地域防災力向上の一助となるべく防火防災の知識や技術を学んでいます。7月22日（土）から7月23日（日）の2日間、茨城県城里町総合野外活動センター「ふれあいの里」において夏季野外活動を実施しました。「ふれあいの里」では給食訓練として自分たちで火起こしするところから行い、協力し合って料理を作り、楽しく食事をすることができました。また、キャンプファイヤー終了後にバケツリレーで実際に消火するなど、普段の活動ではできない様々な体験を元気づけに楽しみました。



▲ キャンプファイヤーを消火



▲ 大洗に到着し記念撮影

また、今回は茨城県大洗町にあるアクアワールド大洗水族館にも立ち寄りしました。水族館副館長から6年前の東日本大震災で体験した津波からの避難について、実際に避難した丘の上に立ち、当時の写真と海を見ながら貴重な話を聞くことができました。

この体験が今後の団員たちの生活に役立つことを期待しています。

荒川消防少年団

団長 寺島 稔

荒川交通少年団



荒川交通少年団は、荒川交通安全協会の下部組織として、交通安全の集いに参加するほか、事故に遭わないよう高齢者への呼び掛け等も行っていきます。

7月30日（日）には、埼玉県比企郡にある「国営武蔵丘陵森林公園」にて訓練とレクリエーションを実施しました。まず始めに、集団行動訓練を行いました。「休め、気をつけ、敬礼、なおれ、右向け右、左向け左、まわれ右」を練習し、集団行動を習得しました。その後は自由行動となり、サイクリング、散歩、プール、ボール遊び等で楽しい時間を過ごしました。帰りのバスでは1日の疲れからか、団員はぐっすり寝ていました。



▲ 集団行動を訓練しました

荒川交通少年団

荒川地区隊長

安部 義治



鉄人レースの初汐入を終えて

7月9日（日）に鉄人レースを開催し、当日は232名の参加がありました。今年で17回目ですが、なんと17回連続の晴れです。私どもがかかわるイベントでもこれだけ晴天が続くことはありません。鉄人レースは水着のまま、ランを実施するため、雨による中止はありません。

この大会の始まりは、私が青少年委員時代に、仲間から「台東区、墨田区でちびっ子トライアスロンをやっている、是非とも荒川で」との声に応え実施しました。本来なら自転車競技が入るのですが、自転車競技を入れると、スタッフの増員、事故の確率も上がるため、スイムとランのアクアスロンでの開催となりました。

競技としてはかなり厳しい種目ですが、子どもたちは単にメダルを目指すだけでなく、自らへの挑戦の気持ち、辛い環境の中で完走することの喜び、昨年の順位を少しでも上げることを通して子どもたちの達成感を育むのが一番の目的です。

「辛かったけれどもこのレースに参加して楽しかった」「来年も出るぞ」といった参加者からの声は、私たち主催者には最高の喜びです。来年も皆様の参加をお待ちしています。



▲ みんなで記念撮影

青少年育成南千住地区委員会副会長

高田 忠則

第12回あらかわ「社明」コンサート

7月8日(土) 荒川区保護司会主催で、あらかわ「社明」コンサートが開催されました。このコンサートは、社会を明るくする運動の一環として行われるものですが、心ならずも罪を犯してしまった方を「おかえり」と温かく深い感情をもって迎え入れ、円滑に立ち直ることができるよう、本運動に対する地域の方々の理解を深めることを目的としています。



▲ 当日の様子

当日は始めに、地域社会における様々な立場の方々による更生保護活動を描いたDVD「チェンジング・ハート」の上映を行い、立ち直り支援の必要性について、理解を深めていただきました。その後、区立第四中学校音楽部及び陸上自衛隊東部方面音楽隊による、すばらしい演奏が行われました。土曜日の午後という忙しい時間帯にもかかわらず、多くの方々にご来場いただきました。演奏を楽しみながら、更生保護や犯罪防止について考える良い機会になりました。

荒川区保護司会 関井 文枝

自転車交通安全協会の安全運転を心がけよう

荒川交通安全協会では、自転車実技教室を荒川自然公園で年2回実施しています。この教室では、実際に自転車を運転しながらマナーについて学び、希望者は荒川区で制度がある自転車免許の交付を受けることができます。その後、参加者で輪投げを楽しんでいます。イベントの実施を通して、今後も交通安全を推進していきます。荒川区では自転車を利用される区民の方が多いので、以下の「自転車安全利用五則」を守り、自転車の安全運転を心がけましょう。

荒川交通安全協会

『自転車安全利用五則』

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
 - ・ 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・ 夜間はライトを点灯
 - ・ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

レインボー子ども会を見守って

私とレインボー子ども会の出会いは、今から13年程前、尾久第六小学校の管理員の仕事をしていた折、いつともなく会の手伝いをするうちに入会していました。

毎年体育館にて、子ども達の運営で総会を行い、小学生の中から会長、副会長を選出し一年間の活動報告を行った後、活動計画を検討します。総会後は、例年楽しいゲーム



▲ 総会の様子

ム会です。今年はひも取りゲームや風船運びゲームを2チームで競い、子どもも大人も大変盛り上がりました。過去の活動でも、そなエリアや水族館見学、バーベキュー、たけのこ狩りなど、大人と子どもが触れ合う温かい思い出が沢山あります。荒川区子ども会大会や尾久つ子ワクワクまつり等の地域活動へも創立以来三十年以上参加していると聞いたり、PTA子ども祭にもカルタやバールン遊びで参加している様子を見て、歴史の古いレインボー子ども会をこれからも応援していきたいと思っています。

尾久第六小学校学校協力員

飯沼 一宏

夜間街頭パトロール

7月27日（木）、28日（金）の2日間にかけて、青少年育成町屋地区委員会主催の夜間街頭パトロールが実施されました。町会、PTA、各団体のご協力により、2日間合わせて約190名の参加がありました。

4コースに分かれてパトロールを実施しましたが、コースの途中にあった防災広場では、町会の方が参加者に向けて、かまどや井戸、トイレ等の説明をしてくださり、防災知識が深まる機会にもなりました。

毎年行われるこの活動が、安全安心な街づくりに資するものとなり、未来ある子どもたちを守る抑止力になればと願っています。

青少年育成町屋地区委員会総務
加藤 徳美



▲安全を確認しながらパトロール中

川の手荒川まつりでPR活動

平成29年4月29日（土・祝）、南千住野球場にて第31回川の手荒川まつりが開催されました。「あらかわの心」推進運動区民委員会では、ステージにて寸劇「カルタ編」を上演するとともに、ブースでのPR活動を行いました。

寸劇は、「あらかわの心」カルタのフレーズを題材とした「カルタ編」を上演しました。対照的な行動をするA君とB子ちゃんのどちらの行動が正しいか、会場の観客に答えてもらうクイズ形式の寸劇です。終盤にはシンボルマークであるハートマークも登場し、観客の皆さんに楽しんでいただきました。

また、ブースでは「おせっかいアンケート」と「カルタクイズ」を実施しました。「おせっかいアンケート」は、日常での「おせっかい体験」にまつわるアンケートを行いました。貴重な工ピソードの数々は、今後の活動に役立てさせていただきます。

今年も多くの方に「あらかわの心」を知っていただくことができ、充実した活動となりました。



▲ハートマークが合体！

クイズ/アンケート

クイズとアンケートの両方にお答えください。正解者の中から5名の方に「あらかわの心」推進運動タオルハンカチをプレゼント致します。郵送かメールで応募してください。

● 郵送の場合

はがきに、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートをご記入の上、下記までお送りください。

〒116-8501

東京都荒川区荒川2-2-3

荒川区子育て支援部児童青少年課内
あらかわの心ニュース
「クイズ/アンケート」係

● メールの場合

メールの件名を下記のようにして、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートをご記入の上、下記までお送りください。

メール件名 あらかわの心
「クイズ/アンケート」係

Eメール arakoko@city.arakawa.tokyo.jp

● 締め切り

平成29年12月15日。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

なお、いただいたご意見は、ニュース等の広報誌でご紹介させていただくことがありますので、ご了承ください。

クイズ

〇〇〇の中に入る言葉は何でしょう？

第9回「あらかわの心」〇〇〇大会は平成30年2月4日（日）に開催予定です。

アンケート

- ① このニュースはどこで手に入れましたか。
- ② もっとも興味・関心をもった記事は何ですか。
- ③ その他、ご意見・ご感想等がありましたら、お願いします。



タオルハンカチ▶

大人の変われば子供も変わる こころの東京革命

このころの東京革命とは、親と大人が責任を持ち、次代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、自らが手本となりながら、人と生きていくうえで当然の心得を伝えていく取り組みです。

東京都が推進する「こころの東京革命」を、荒川区独自の視点で捉え展開しているのが、「あらかわの心」推進運動です。

第23号 平成29年10月2日発行

発行「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局

〒116-8501 荒川区荒川2-2-3（荒川区子育て支援部児童青少年課内）

TEL.03-3802-3111（内線3833） FAX.03-3802-3174

<Eメール> arakoko@city.arakawa.tokyo.jp

<ホームページ> https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/kyoiku_seishonen/suishinundo/index.html